

問10. 消防体制について

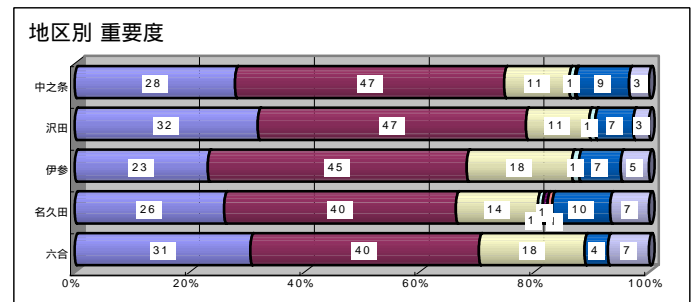
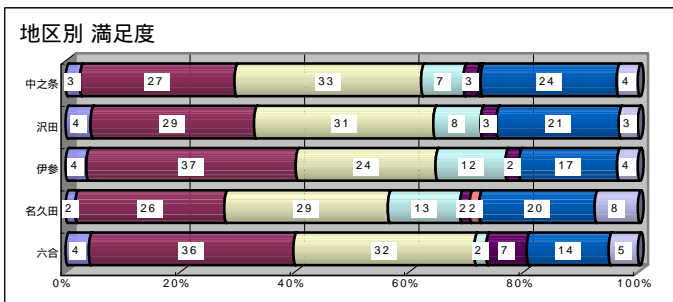
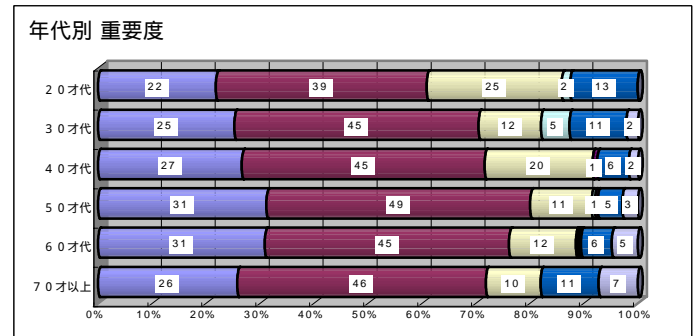
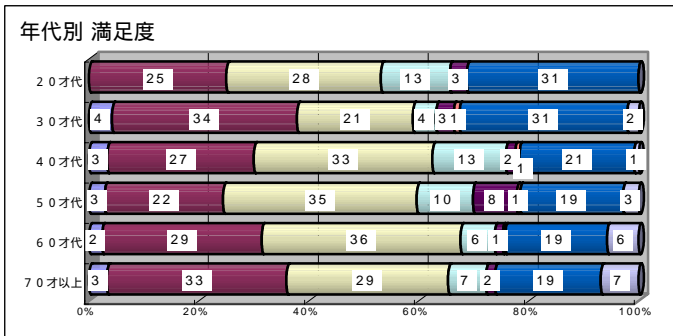
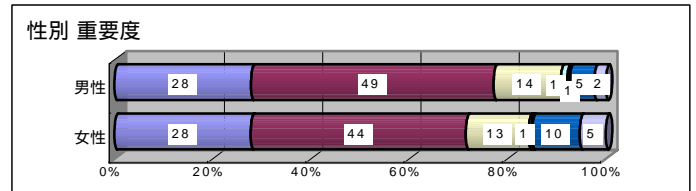
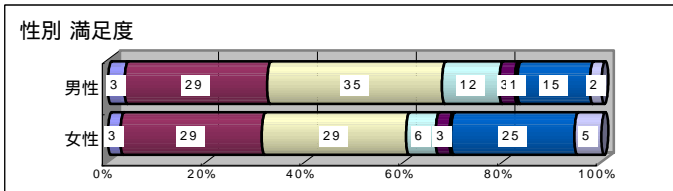
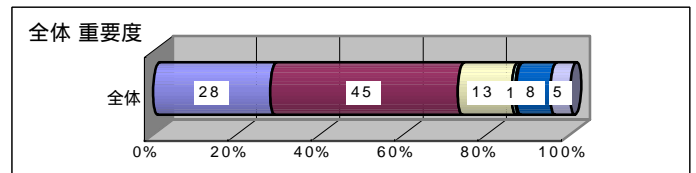
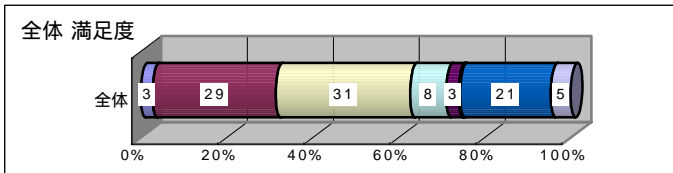
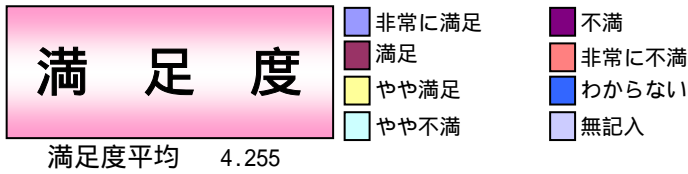
・消防団の運営 ・消防車等の消防機械器具の整備
 ・防火水槽、消火栓等の消防施設整備] などのことです。

全体的には86%の人が「やや重要」～「非常に重要」と思っている。そして63%の人が「非常に満足」～「やや満足」と感じている。

- ・性別では、男性の方が重要度・満足度共に女性より高くなっている。
- ・年代別では、50代を中心に重要度が高くなっている。満足と感じる割合は年齢が上がる方が若干高くなっている。
- ・地域別では、名久田地区が重要度・満足度共に低くなっている。
- ・重点を置くべき項目では、「防火水槽・消火栓の整備」と答える人が多く、全年齢、全地区で高い割合である。「消防団員の確保」も次いで高い割合となっており、六合地区では53.1%にもなっている。

前回調査(H20)との比較

満足度 平均4.193 4.255 順位6/32 4/32 重要度 平均4.998 5.145 順位5/32 4/32 40代の「非常に満足」～「やや満足」と答えた割合が47% 63%と大きく増加した。中之条地区の満足度が上がり(+5%)、名久田地区が下がった(-8%)。



この施策を推進するのにあたり、重点を置くべきと思うことの割合。

(%)

推進項目	全体	性別			年代別							地区別					
		男	女	無記入	20年代	30年代	40年代	50年代	60年代	70歳以上	無記入	中之条	沢田	伊参	名久田	六合	無記入
消防団員の確保	41.9	47.2	40.0	30.6	29.7	41.1	40.8	47.2	43.8	41.2	38.6	42.0	39.0	46.3	37.8	53.1	36.6
消防機械器具の整備	24.8	24.9	26.6	12.9	32.8	32.6	26.7	28.4	24.3	19.9	13.6	26.6	26.9	20.7	16.0	30.6	21.8
火災予防の啓発活動	23.5	24.1	23.9	18.8	25.0	18.9	27.5	26.1	27.1	19.9	20.5	25.2	25.3	20.7	26.9	19.4	16.8
防火水槽・消火栓の整備	42.7	46.5	41.6	32.9	48.4	46.3	46.7	48.9	43.8	36.9	25.0	46.7	43.4	39.0	46.2	34.7	30.7
消火訓練	9.2	11.0	8.4	5.9	10.9	9.5	10.8	11.9	9.0	7.5	2.3	9.0	8.2	7.3	9.2	15.3	6.9

その他の重点を置くべき項目として記入いただいたものは、次ページ

その他の重点項目

若い人材が少ない。中高年を含めた消防団員を作る。

消防団員への待遇

消防団の民主化、自主防火

川への進入道

消化の際の指揮官が必要、バラバラに消化に当たっている

防火水槽、消火栓の地図など当地内啓発

町をあげて団員を確保して欲しい

河川への進入路の整備

団員への待遇を良く

防火水槽の表示板の字が消えているところが多い(丸形)

火災発生のサイレンの回数が多すぎる。早く場所の放送をしてほしい。

役場など暇な団体と消防署の合併

不要な防火水槽は消火設備から削除し、必要な防火水槽は定期的に点検すること(土砂で埋まっていないか)。

消火栓の場所は誰もが知っておいた方がいい!